令和7年度 『DCM の森　胆沢』 植樹会

令和7年5月31日（土）、奥州市胆沢若柳字東前川山国有林51林班内において、DCM株式会社の社員とご家族及び奥州地方森林組合職員の48名、岩手南部森林管理署職員2名が参加し植樹活動を実施しました。

国有林では、国民参加による森林づくり活動の一環として、企業の社会的責任（CSR）活動等を目的としたフィールド提供として「社会貢献の森」を設定していますが、今回の活動は、平成25年に、DCM株式会社と当署との間で締結した協定「DCM の森 胆沢」の活動方針に基づき、毎年、採石跡地において植樹活動を実施しているものです。

当日は、時折小雨が降るあいにくの天候でしたが、森林組合職員や当署職員からの植樹指導及び署長挨拶の後、参加者の方々は、コンテナ容器の中で育苗されたコンテナ苗のアカマツ 1,200 本を、ディブルと呼ばれる植樹専用器具を使って植穴を掘り、硬い地盤と悪戦苦闘しながら植樹を行いました。植付後は苗の周囲の土を軽く踏み、苗木が無事に活着するよう願いつつ作業が行われました。

次年度以降も、当協定に基づき継続的に植樹活動が行われる予定です。

植樹会に参加された DCM 株式会社の皆様、大変お疲れ様でした。

植穴の掘削

植栽時の踏み固め

植樹後の状況

記念撮影